

## 始まりは42年前 バドミントン連盟発足

「バドミントンの町」と呼ばれるほど、バドミントンが盛んな岡垣町。およそ3万人の人口に対し、競技人口は約200人、町のバドミントンクラブからは、北京、ロンドンオリンピック日本代表の池田信太郎さんをはじめ、多くのトップ選手を輩出してきました。2017年12月現在、町内では4つの一般クラブと3つのジュニアクラブが活動しています。なぜバドミントンが盛んになったのか、中心となって競技を広めてきた「岡垣町バドミントン連盟」会長の森嶋通之さん、バドミントンクラブ「岡垣ジュニア」監督の池田明男さん、「海老津ジュニア」監督の和田功夫さんにお話を伺いました。

岡垣町でバドミントンが本格的に行われるようになったのは、今から42年前の1975年。三菱化学でバドミントンの監督をしていた池田さんが北九州市から岡垣町に移り住んだことを機に、1974年に町では初となるバドミントンクラブが誕生しました。その翌年に、同クラブの一般部、レディース（家庭婦人）、ジュニアの3チームで岡垣町バドミントン連盟を発足したのです。「と教えていただいたのは会長の森嶋さん。連盟が発足した後、安川電機でバドミントンをしてきた森嶋さんも池田さんの活動をキッカケにクラブを創設。そして池田さんと森嶋さんにバドミントンを教わった和田さんもファミリーを対象としたクラブを創設するなど、岡垣町にどんどん

巻頭特集 小さな町で盛り上がる、熱いスポーツ

# バドミントンの町 岡垣

バドミントンとは、ラケットを使いシャトルを打ち合って得点を競うスポーツ。打球は初速で400キロ以上！そんな最速のスポーツと言われるバドミントンが、岡垣町で盛んに行われています。そのルーツと強さの秘訣について取材しました。



バドミントンクラブが誕生していきま

した。そうやって岡垣内に誕生したバドミントンクラブはめきめきと力をつけ、ジュニアから一般（大人）まで、これまでに多くの選手が九州大会や全国大会に出場。2008年には池田さんの長男・信太郎さんが北京オリンピックに日本代表として出場するという快挙を成し遂げ、町は歓喜の渦に包まれました。「こんな小さな町で、ここまでバドミントンが盛り上がっている自治体は他にないのではないだろうか。これも、行政の理解があったことも理由のひとつ。町づくりにバドミントン

を生かしたい」ということで、立派なアリーナを備える『岡垣サンアリーナ』を作るなど、町が環境を整えてくれたことも大きかったと思います。」と森嶋さん。2010年には、岡垣サンアリーナでバドミントンの日本リーグが開催されました。池田信太郎さんや潮田玲子さんなど多くのトップ選手が岡垣町に集結。日本中からファンが駆けつけ、会場は仮設の観客席や立ち見枠を作るほどの超満員に。バドミントンが岡垣町の名を全国に広めたのです。

## ジュニア育成に尽力し 競いながらレベルアップ

トップ選手を輩出し、発展を遂げる岡垣町のバドミントン。その原点は、特に力を入れているジュニアの育成にあると池田さんは語ります。「ジュニアクラブには、幼稚園から中学生までの子ども達が所属しています。現在は常時100人以上の生徒が在籍し、毎年10〜20人の生徒が卒業しますが、みんな高校生や大学生になってもバドミ



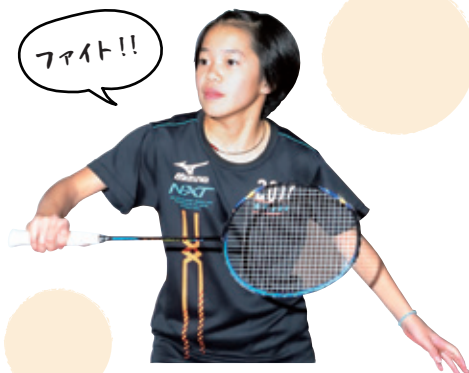
ントンを続け、選手として活躍しています。社会人になってプロになる方もいれば、仕事をしながら大会に出たり、結婚して主婦になって趣味でバドミントンが続けられる方もたくさん。ジュニアOBの親御さんの影響を受けて、お子さんがバドミントンを始めるという家庭も。ジュニアクラブがあることで、岡垣町にバドミントンが続けるための良いサイクルが生まれているんですよ。」また、町内のクラブがそれぞれに長い歴史を持つことも、良い影響を与えているそうです。「クラブがずっと同じ監督で30年、40年と長く続いていることもバドミントンを盛んにした要因ではないでしょうか。『あつちのクラブが良い成績をあげているから、うちも負けられない』と、長きに渡り良い意味でのライバルとして競い合ってきたから、お互いに技術が上がってレベルも高くなったのだと思います。」と和田さんが教えてくれました。



池田監督率いるクラブ。幼稚園児から中学生まで、約70人が所属

## 強さの秘訣は 熱い指導にあり！

取材当日、「岡垣ジュニア」「海老津ジュニア」の練習風景を見学させていただきました。真剣な表情でラケットを握り、シャトルを打ち合う子どもたち。時には、「もつと前に出らんかー！」と監督の激げが飛ぶこともありましたが、厳しくも熱い練習も、岡垣町のバドミントンの強さに繋がっているようです。「子どもと指導者に強い信頼関係が築き上がっているからこそ、厳しい練習に耐えることができるのです。どのクラブでも、生温い練習はしていません。監督やコーチが子どもたちに本気でぶつかると、気持ちが届いて応えてくれる。熱い指導者が生活を二の次にして全てをバドミントンに注いでいるからこそ、良い選手が育つのだと思います。」と森嶋さんが誇らし



げに教えてくれました。なんと、監督とコーチのみならずはほぼボランティア（無償）で指導に当たっているそう。監督の奥さんも練習に参加していましたが、指導者たちのバドミントンにかける熱い情熱が、岡垣町の強いバドミントンを生み出しています。これからの益々の活躍から目が離せません！



和田監督率いるクラブ。小学生から中学生まで、約60人が所属

**岡垣町バドミントン連盟**

お問い合わせ先  
☎093-282-6827  
<http://okagakibad.web.fc2.com/> 検索